

鴨川市教育委員会11月定例会議事録

- 1 日 時 平成29年11月22日(水) 開会 午後2時00分
閉会 午後3時40分
- 2 場 所 天津小湊支所2階 会議室
- 3 出席委員 (1) 月岡正美 (2) 根本新太郎 (3) 石井千枝
(4) 吉原里夏 (5) 永島康弘
- 4 出席職員 (1) 瀧口正勝 (2) 長谷川幹男 (3) 鈴木克己
(4) 羽田幸弘 (5) 入江裕一 (6) 高橋雅史

5 教育委員会10月定例会議事録の承認

- ・月岡教育長から、10月定例会議事録について、訂正等の確認がなされ、質疑なく、全員の了承が得られた。

6 教育長・委員報告

- ・月岡教育長から、11月に開催された行政事業仕分けの概要について、資料をもとに報告がなされた。

事業仕分けとは、仕分け人が外部かつ現場の視点により公開の場で議論を交わし、分かりやすく事業を検証し、その議論を市民判定人が聴き、事業を判定すること、仕分けの流れは、事業説明・質疑議論・評価の流れで行われる、等の説明がなされた。

教育委員会に係る内容は、給食事業、公民館維持管理費、市民ギャラリー維持管理費について行われ、給食事業では、学校給食の民間委託の是非が議論の中心となり、判定人から、早く進めるべきではないか、等の意見があった。公民館維持管理費では、民間施設を利用できるのではないかと、利用料を徴収してはどうか、施設数を減らすべきではないかと、との意見が判定人からなされ、生涯学習課担当者から、利用する高齢者にとって身近な場所にあることは必要である、他、市民判定人から、教育はコストだけでははかれないのではないかと、との意見があった。市民ギャラリー維持管理費では、利用者が少ないこと、代替え施設として公民館や学校・ホテルを活用してはどうか、等の意見がなされ

た。

市としては今後、事業仕分けの結果を踏まえ、担当課で各事業を検証し、方針を決定していくこととなる。また、判定結果は、担当者の説明も影響すること、行政においては、事業効果をどのように捉え、どのように工夫・改善をしていくべきか、という検証部分が全体的にやや弱いという印象をもった、との報告・感想がなされた。

- ・鈴木スポーツ振興課長から、マリーンズ交流推進事業の事業仕分けの報告がなされ、仕分け人からは、地域貢献の観点から高評価を受けたこと、市が後援会事務局を担当している関係から、市でやるべきことと後援会でやるべきことのすみ分けをしっかりとすべきではないか、との意見があったとの報告がなされた。
- ・羽田子ども支援課長から、子ども医療対策事業、地域子ども・子育て支援事業費の事業仕分けについて報告がなされた。仕分けの評価結果を見ると、この2つの事業は、今回の中で一番良い評価を受けたものと理解している。その意味からも、更に工夫・改善を加え推進していきたい、との報告がなされた。
- ・吉原委員から、この判定結果から今後親の負担が増える可能性はあるのか、との質問があり、羽田子ども支援課長から、議論の内容からも十分市民の理解を得ている事業と認識しているので、現在の状況から負担が増える可能性はないと考えている、との説明がなされた。
- ・石井委員から、今回の市民判定人の世代は高齢者が多く、市民判定人の年齢層から判定結果は左右される可能性もあるのではないかと、との意見がなされた。
- ・永島委員から、鴨川市文化祭と鴨川中学校訪問視察の報告がなされた。鴨川中学校の教職員の退勤時間が午後8時から10時程度との報告がされたが、県教委による教職員メンタルヘルス調査のアンケートでは、対象者の4.4%が面接指導が必要とのことであり、鴨川市だけでなく、教職員全体の心のケアについて考えていかなければいけないと感じた。その他、鴨川青年会議所が来年度50周年記念行事を開催するので、何か良いアイデアがあれば声をかけて欲しい、との報告がなされた。
- ・石井委員から、県教育長・教育委員研修会、鴨川小学校、鴨川中学校訪問視察への参加報告がなされた。研修会では異校種間の連携教育がテーマであったが、内容は小中一貫教育の内容であった。南房総市の発表があったが、基本的には鴨川市と同じ取組であり大きな違いとしては、南房総市の子ども教育課は教育委員会の管轄であり、その意味では、組織的な系統性が図れていると感じた。その他、過密化と過疎化の地域では課題が違う、との感想がなされた。学校訪

問では、情操の面から教育環境の大切さを感じた。天津小と小湊小の統合に向けては、財政面での事情はあろうかと思われるが、できるだけ教育環境を整えてあげてほしい、との意見・感想がなされた。

- ・根本委員から、県教育長・教育委員研修会、鴨川小学校、鴨川中学校訪問視察への参加報告がなされた。研修会では、コミュニティスクールがテーマであったが、学校と地域の良好なかかわり合いについて考える機会となった、との報告がなされた。
- ・石井委員から、外国語教育、道徳の教科化、プログラミング教育など新たな学習指導要領の対応が必要となるが、教師はあれもこれもと慌てず、これまでの取組をベースにじっくり取り組むようにしてほしい、との意見がなされた。
- ・月岡教育長から、外国語活動・ICT教育など本市としての新たな取り組みについては、時期をみて、教育委員の皆様の説明をさせていただく、との報告がなされた。

7 議 事

(1) 平成30年度鴨川市立幼稚園園児募集について

- ・羽田子ども支援課長から、「平成30年度鴨川市立幼稚園園児募集について」資料をもとに説明がなされた。
- ・根本委員から、東条幼稚園の閉園予定は4月1日とあるがどういう意味か、との質問がなされ、羽田子ども支援課長から、預かり保育が3月31日まで行う関係からこのような表記となっている、との説明がなされた。
- ・吉原委員から、東条幼稚園の新4歳児は卒業できないのか、との質問がなされ、羽田子ども支援課長から、そのような条件となります。その上で、入園希望者が5人以下の場合は、個別の相談をしていきたいと考えている、との説明がなされた。
- ・他に質疑がなく、全員の了承が得られた。

(2) その他

- ・羽田子ども支援課長から、「認定子ども園保護者説明会について」資料をもとに説明がなされた。
- ・長谷川学校給食センター所長から、「学校給食センター運営委員会の報告について」資料をもとに説明がなされた。

- ・瀧口学校教育課長から、天津・小湊地区小学校の再編について、進捗状況の報告がなされた。

8 閉 会

閉会后、12月の教育委員会行事予定について、各所属長より説明がなされた。

月岡教育長は、一切の終了を告げ、閉会を宣言した。

以上、会議の顛末を記載し、相違ないことを証するため署名する。

平成29年12月20日

鴨川市教育委員会 教育長

教育長職務代理者

議事録作成者 瀧口 正勝